

1 期日

- (1) 開会式 令和7年 5月24日(土) 9:15～(各会場にて実施)
監督会議 令和7年 5月24日(土) 9:00～(各会場にて実施)
令和7年 5月30日(金) 11:00～(各会場にて実施)
- (2) 競技 令和7年 5月24日(土)・25日(日)
5月30日(金)・31日(土)・6月1日(日) 5日間

2 会場

- ・熊本県立総合体育館
〒860-0079 熊本市西区上熊本1丁目9番28号 TEL 096-75-1314
- ・山鹿市総合体育館
〒861-0511 山鹿市熊入町416 TEL 0968-43-0090
- ・大津町総合体育館
〒869-1217 菊池郡大津町1000 TEL 096-293-8088
- ・益城町総合体育館
〒861-2242 上益城郡益城町木山236 TEL 096-289-2433

3 競技種目

- (1) 学校対抗戦 男・女
(2) 個人対抗戦 男・女 (シングルス・ダブルス)

4 競技日程

期 日	時 間	内 容(種 目)	会 場
5月24日(土)	9時00分～	監督会議(各会場)	熊本県立総合体育館(18) (男子) 山鹿市総合体育館 (14) (女子)
	9時30分～	個人対抗戦ダブルス 決勝まで	
5月25日(日)	9時00分～	個人対抗戦シングルス 途中回戦まで	
5月30日(金)	11時00分～	監督会議(各会場)	大津町総合体育館 (11) (男子) 益城町総合体育館 (10) (女子)
	13時00分～	競技開始 学校対抗戦 3回戦まで	
5月31日(土)	9時30分～	学校対抗戦 準々決勝～決勝	大津町総合体育館 (8) (男子) 益城町総合体育館 (10) (女子)
6月1日(日)	9時30分～	個人戦シングルス 決勝まで	大津町総合体育館 (8) (男子)
			益城町総合体育館 (10) (女子)

※ 5月24日(土)は9:00から、5月30日(金)は11:00から監督会議を行いますので各会場にお集まりください。また、学校対抗戦のメンバー追加・変更用紙は5月30日(金)の各会場入場後に提出をお願いいたします。(監督会議受付でも可)

【注意事項】

I 会場使用上の注意

- (1) ゴミは、全て各学校・各自で持ち帰ること。ただし、会場で販売されているジュース等のゴミについては、各会場の役員の指示に従うこと。
- (2) 開館後のラケット等、物品を置いてのコートの占有は禁止します。来館したのから順次、譲り合って練習ができるように心掛けること。
- (3) 体育館及び関連施設を汚したり、傷つけたりしないよう、十分注意して使用すること。使用中の施設・設備及び器具等に破損が生じた場合は、必ず顧問の先生を通じて大会本部に申し出ること。
- (4) 他人に迷惑を及ぼす行為がないよう、施設・設備を使用すること。館内のロビーや通路・前庭・駐車場・ホール等での練習・ウォーミングアップは禁止とする。
- (5) 体育館シューズと下履きとを明確に区別すること。
- (6) 体育館フロア内や所定の場所以外への飲食物の持ち込みは、厳禁である。
- (7) 体育館施設の電源等を勝手に使用しないこと。ビデオ等の電源は、各自のバッテリーで行うこと。ストロボ・フラッシュを使用しての撮影は禁止とする。
- (8) 大会期間中は、各学校が責任を持ち、忘れ物・盗難に十分注意すること。道具を更衣室等に放置して帰らないこと。
- (9) 開館時の体育施設への部旗張りや待機の場所取りは、危険を伴うので、極力安全面（走る行為等）に配慮すること。

『来たときよりも美しく』 『スポーツマンシップ』

をお互いに心掛けましょう。

II 競技上の注意

1 全般的事項

- (1) この大会は、令和7年度（公財）日本バドミントン協会競技規則ならびに大会運営規程と本大会実施要項に基づき行います。
- (2) 学校対抗戦の各学校の練習時間は、タイムテーブルの練習時間に従ってください。個人対抗戦の練習時間は会場放送で連絡します。
- (3) 試合進行の状況により、試合開始時刻およびコートを変更することもあり得るので、放送に十分注意すること。コールに応じなかった場合棄権と見なすこともあり得ます。
- (4) 正式ゲーム時、各ゲームともにどちらかが11点を先取した時に60秒のインターバル、第1ゲームと第2ゲームおよび第3ゲームの間に2分を越えないインターバルを認める。
※21点×1の簡易ゲームでは、11点時のアドバイスは認めない。給水は可とする。
- (5) 正式ゲームは、別紙の通りで全種目、21点3ゲームとする。

2 学校対抗戦

- (1) 学校対抗戦出場校は、（公財）日本バドミントン協会【第1種検定合格水鳥シャトル】（3番）を男女ごとに、1校当たり1ダース（ケースに男女別に校名記入の上）、5月24日（土）に各会場に提出してください。ダブルスに出場しない学校については、5月25日（日）か5月30日（金）に提出してください。
- (2) 【学校対抗戦メンバー追加・変更届】用紙は、高体連バドミントン専門部 HP からダウンロードしてください。【オーダー用紙】は、当日会場で配付します。次回戦以降のオーダー用紙は、試合終了後、審判（敗者審判校）から手渡します。
- (3) オーダーは選手登録した5～8人の中でしか組むことはできません。登録外出場は失格となりますので、十分注意してください。
- (4) トーナメント戦方式による。ただし、3位決定戦は行わない。
- (5) ダブルス2組、シングルス3名で行い、試合順はダブルス1・ダブルス2・シングルス1・シングルス2・シングルス3で実施する。なお、シングルス1出場者以外は、ダブルスとシングルスを兼ねて出場することができる。

- (6) 学校対抗戦は、3 マッチ先取とする。（ただし、1 回戦は第 3 シングルスまで行なう）
- (7) 試合進行上、並行試合も有り得る。
- (8) 正式ゲームでのインターバルは、学校対抗戦が連続する場合 20 分、対抗戦内で 2 コート以上並行して試合を行い、同一選手が連続して試合をする場合は、10 分を与える。
- (9) 監督・コーチ・マネージャー・選手の変更は、5 月 30 日(金)入館後の提出までとし、会場本部に所定の変更届用紙で提出する。（監督会議受付でも可）それ以後はいかなる場合も変更を認めない。
※医師の診断書は不要。

3 個人対抗戦

- (1) シングルスおよびダブルスを行う。（シングルス・ダブルスは兼ねて出場できる。）
- (2) トーナメント戦方式による。ただし、3 位決定戦を行う。
- (3) 個人対抗戦が連続する場合は 15 分のインターバルをとる。
- (4) 選手の変更は、いかなる場合も認めない。棄権の場合、当該校が大会本部に申し出ること。
- (5) アドバイス席に座ることができるのは、監督・コーチ・マネージャー・部員とする。

III 審判上の注意

- 1 審判は敗者審判員と公認審判員による双方で実施します。敗者審判についてはルールを十分理解しておいてください。学校対抗戦および個人対抗戦の審判を会場地の学校にお願いすることがあります。
- 2 次のような違反行為はしないようにしてください。
 - (1) 汗拭き、靴の紐の締め直しなどで故意にプレーを中断すること。
 - (2) サービス前の極端に長いサーバーの停止や、極端に遅いレシーバーの構え。
 - (3) アドバイス席には 2 名まで入ることができる。助言はアドバイス席に入った監督・コーチ・マネージャー・部員のみとし、プレー間のみ行うものとする。それ以外の助言は一切することができない。
 - (4) シャトルの羽根を折ったり、広げたりする行為。
 - (5) 「抗議」「異議」は一切認めません。疑問のあるときは、礼儀正しく当該プレーヤーまた監督が主審をとおして大会本部に質問してください。もしその判定に服さないときは、その試合を放棄したものとみなします。
 - (6) ルールの改正に伴い、サーブ時に、シャトル全体が必ずコート面から 1.15 ｍ以下となりましたので、十分に注意してください。
 - (7) サーブでシャトルにスピンをかける通称デコピンサービスについては、全国高体連の規定により禁止とする。

IV 表彰

- 1 学校対抗戦 男女優勝校には、優勝旗・賞状、3 位までは賞状を授与する。
- 2 個人対抗戦 優勝者はメダルと賞状、2 位～5 位は賞状を授与する。

V 資格取得

- (1) 学校対抗戦－1 位、個人対抗戦(ダブルス・シングルス)－1－2 位は、令和 7 年度全国高校総体バドミントン競技大会(山口県)への出場資格を得る。
- (2) 学校対抗戦－1・2 位、個人対抗戦(ダブルス・シングルス)－1～4 位は、令和 7 年度全九州高校バドミントン競技大会(宮崎県)への出場資格を得る。
- (3) 個人対抗戦単・複のベスト 16 に入った選手は、全日本ジュニア県予選の出場資格を得る。全日本ジュニア県予選には 3 年生は出場できないため、出場権を獲得した学校枠として 1・2 年生の出場を認める。
- (4) 令和 7 年度県高校総体の結果は、第 79 回国民スポーツ大会の選手選考の資料とする。

VI 連絡事項

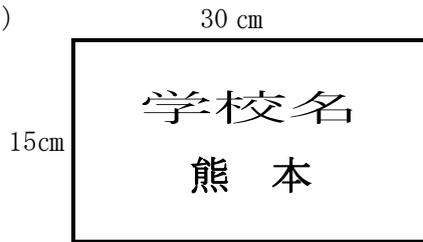
1 服装

- (1) プレーヤーは、相手または観客に不快感を与えないように、競技中、運動用ウェア、シューズを着用する。着衣等の色またはその組合せはどのようなものでもよいが、白一色の着衣を使用する場合は、上衣は襟付き半袖、下衣は男子はショートパンツ・ハーフパンツ、女子はショーツスカートまたはショートパンツ・ハーフパンツとする。色付き着衣を使用する場合は競技の品位を保つために(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。ただし、ロングパンツの着用は県高体連専門部会の申し合わせにより認めないこととする。
- (2) 上衣の背面中央に必ず高等学校名および都道府県名を日本語で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。(各学校にて上衣と文字との配色は十分検討してください。)

【上段：学校名（やや大きく）、下段：都道府県名】

ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦 15 cm・横 30 cmの大きさを基準とする。ゼッケンの場合の文字の色は、黒色または濃紺色とする。

(例)



※各学校ともに上記のように背面プリントか、ゼッケンを作成して下さい。

- (3) 開始式に参加するときの服装は、スポーツウェアか競技時の服装とする。

2 応急措置

競技時の傷害、疾病等の応急措置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。

3 その他

- (1) 引率責任者・監督・コーチ・マネージャーについて
 - ア 引率責任者は、校長の認める当該校の教員とする。引率責任者は事前に生徒指導の万全を期するとともに、出場者の行動に対して責任を負うものとする。
 - イ 監督は、校長が認める指導者とする。
 - ウ コーチは、校長が認める指導者または部員とする。
 - エ 監督・コーチが、外部指導者の場合はスポーツ安全保険（傷害、賠償責任保険等）に必ず加入することを条件とする。
 - オ マネージャーは、当該校の職員または選手、部員とする。
- (2) 個人対抗戦のアドバイス席は、正式ゲームから設ける。また、コーチング・アドバイスについては、監督・コーチ・マネージャー・部員とする。
- (3) 部旗の使用については、大きくないものとする。
- (4) クーラーボックスのフロアー内持ち込みは、禁止とする。氷嚢を使用する場合は、小さめの保冷バッグに入れること。
- (5) 使用水鳥球は、ヨネックス・ニューオフィシャルとする。

VIII 諸連絡事項

- 1 5月30日(金)の学校対抗戦は3回戦まで行います。5月31日(土)の学校対抗戦は準々決勝・準決勝・決勝を行います。
- 2 学校対抗戦のメンバー変更届用紙の提出は、5月30日入場後すぐに本部へ提出してください。(監督会議受付でも可)
- 3 プログラムは大会当日、各学校男女別に会場にて、1冊ずつプログラムを配付します。受付およびシヤトル提出と同時に受け取ってください。
- 4 体育館開場時の押し合いは大変危険ですので、係員の指示に従って入館してください。
- 5 応援について、各会場観客席の1・2列目を開けるようにしてください。学校対抗戦は、ベンチ席とコーチングシートを準備します。個人対抗戦は正式ゲームよりコーチングシートを準備します。
- 6 駐車場等利用上の注意について
 - (1) 大会期間中は全館貸し切りではありません。よって、本大会に割り当てられた駐車スペースしか利用できません。
 - (2) 体育館の開館は8:00(5月30日(金)は10:30)ですので、必要以上に早い来館は御遠慮ください。特に、車のエンジンをかけたままでの駐車(騒音・排気ガスの問題)、早朝からのウォーミングアップ等が問題とされています。体育館や近隣の住民の方々が大変迷惑されますので、御注意ください。**※身障者用の駐車場には決して駐車されないよう、お願いします。**
 - (3) 送迎される際は、駐車場で降車をお願いします。体育館周辺の道路で降車させると渋滞の原因となります。
 - (4) 益城町総合体育館は「P2、P3、P4」駐車場を利用してください。また、マイクロバス等は「バス専用駐車場」に駐車してください。「P1」駐車場は利用しないでください。